

ニュースクリップ & 映像教材

- 「映画テレビ技術2005」開催
- 「第17回すかがわ国際短編映画祭」開催
- 「第46回科学技術映像祭」入選作品決定
- メディアポスト2004～「総合的な学習の時間」成果発表コンテスト～受賞校決定
- 「情報メディア学会第4回研究大会」開催
- 「第16回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞～全国アマチュアビデオ映像祭～」入賞作品決定

AV情報

■「映画テレビ技術2005」開催

(社)日本映画テレビ技術協会では、「今、映像が熱い！感性とプロ技術の祭典」をキーワードに、ますます進化を遂げる制作技術とニーズ、特に政府省庁の映像コンテンツの施策とあわせ、特異性のあるイベントを目指し、標記催しを開催する。

〈開催日〉

平成17年5月25日(水)～27日(金)

〈開催場所〉

東京北の丸・科学技術館

東京都千代田区北の丸公園2-1

〈内容〉

○「映像フォーラム」(デジタルアニメコレクションセミナー含)

○ノミの市

○「映画カメラみて、さわれ

る！」

○「デジタルコンテンツシンポジウム」

○『『ロード・オブ・ザ・リング』の特撮に関するシンポ』

〈入場料〉

1,000円

〈問い合わせ先〉

(社)日本映画テレビ技術協会
〒104-0061 東京都中央区銀座
2-15-2 東急銀座ビル

TEL 03-3544-6675

FAX 03-3544-6676

<http://www.mpte.jp>

■「第17回すかがわ国際短編映画祭」開催

広く映像文化に対する理解を深めるとともに、地方文化の振興と国際文化交流を推進することを目的に、標記映画祭が今年も福島県須賀川市において開催される。

〈開催日〉

平成17年5月13日(金)～15日

(日)

〈会場〉

福島県須賀川市文化センター
(須賀川市牛袋町11番地)

〈主催〉

すかがわ国際短編映画祭実行委員会、須賀川市、須賀川市教育委員会

〈入場料〉

1日券：500円／3日券：800円

〈参集予定人員〉

2,500人

〈問い合わせ先〉

すかがわ国際短編映画祭実行委員会

TEL 0248-75-1111 (内線444)

<http://www.sia.co.jp/sukagawa/eigasai/>

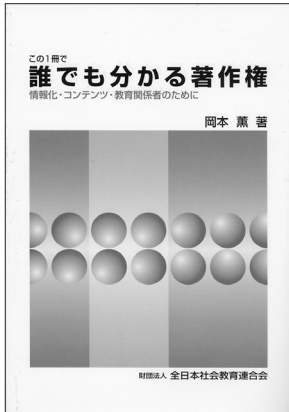
コンクール情報

■「第46回科学技術映像祭」入選作品決定

(財)日本科学技術振興財団、

(財)日本科学映像協会、(社)

ブックレビュー



「誰でも分かる著作権」

岡本薫著 (財) 全日本社会教育連
 合会 2005年3月1日刊 A5判
 376頁 1,995円

この本のルーツは1997年の『マルチメディア時代の著作権』。この時は「著作権は『国際人権規約』にも規定された人権」という側面から説き起こし、制度の概要を解説した。その後、インターネットの利用が急速に拡大し、2002年の『インターネット時代の著作権』に発展した。2004年版の249ページから、この第3弾にあたる本書『誰でも分かる著作権』は374ページに大幅改訂、増ページをして生まれ変わった。

「すべての人々」が著作権と無縁ではいられなくなった今日、「民主主義」の原則による「法律ルール」作りや、「自由」の原則による「自己責任での行動」ということが、ますます必要になってきている。

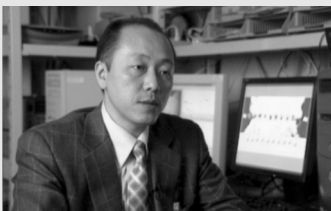
本書の中で詳細に述べるよう

に、著作権というものに関しては、「法律ルール」についても「契約内容」についても、「すべての関係者が常に不満」というのが「普通の状態」であり、法律ルール作りや契約交渉などにおいて誰に有利な状況が作られるか——ということは、各当事者の努力次第。この本は、いずれの利害も支持せず、中立的な立場から客観的な解説と問題提起を行ったもの。

サブタイトルに「情報化・コンテンツ・教育関係者のために」とあり、視聴覚教育関係者はもとより、教育関係者にも「誰でも分かる」ように、具体的にできること、できないことを明示し、著作権ルールの基本的な考え方を知ることによって著作権と上手につきあうことを勧めている。(近藤真司)

映像文化製作者連盟、(財)つくば科学万博記念財団の共催による標記映像祭が開催された。当映像祭は、優れた科学技術に関する映像を選奨し、科学技術の普及と向上を図ることを目的に、昭和35年から毎年開催されてきた。今回も、審査委員による審査試写ならびに討論の結果、ビデオおよびテレビ番組の参加作品79本の中から、次の主な入選作品が決定した。

〈内閣総理大臣賞〉(1作品)
 基礎研究部門「未来を創る科学者たち2004 アトムファクトリー—原子の世界からのライブ中継〜木塚徳志〜」(テレビ作品)



未来を創る科学者たち2004 アトムファクトリー

企画：文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課、(独)科学技術振興機構 制作：(株)NTV映像センター、東芝デジタルフロンティア(株)
 〈文部科学大臣賞〉(14作品)
 科学教育部門、基礎研究部門、科学技術部門、医学部門、ポピュラーサイエンス部門、それぞれから計14作品が選出された。詳細は下記のWebサイトを参照。
 〈入選作品上映会〉
 4月から来年1月にかけて、全国13か所では入選作品の上映会が開催される。詳細は下記のWebサイトを参照のこと。
 〈問い合わせ先〉
 (財)日本科学技術振興財団 振興部 映像祭係
 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
 TEL 03-3212-8487
 FAX 03-3212-0014
<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

■メディアポスト2004〜「総合的な学習の時間」成果発表コンテスト〜受賞校決定

メディアポスト実行委員会主催による、標記コンテストは、コンピュータを利用した子どもたちの創造性豊かな作品を奨励することにより、子どもたちの学習活動がますます主体的に、意欲的になり、また、学校教育におけるコンピュータの活用が、さらに効果的になるよう支援することを目的に開催され、このほど受賞校が決定した。

〈文部科学大臣奨励賞〉
 ○小学校部門「伊島塩物語」(徳島県阿南市立伊島小学校)
 ○中学校部門「福崎町観光客倍増計画」(兵庫県福崎町立福崎東中学校)
 〈優秀賞〉
 ○小学校部門「とことん出雲2004」(島根県出雲市立大津小学校)
 「鳥取ビアの泉〜すばら

トピックス

平成17年度「子どもビデオ創作教室」に18施設・団体が応募

既報(本誌3月号85頁)の通り、全国視聴覚教育連盟では文部科学省の「子どもの居場所づくり新プラン」中の「地域子ども教室推進事業」に賛同し、休日や放課後に子どもたちがビデオの撮影から編集・発表までを行う同事業を実施し、平成16年度は10施設・団体の参加を得て実施した。3か年計画の第2年次にあたる平成17年度も同様に募集した結果、下記のように平成16年度からの継続9か所、平成17年度からの新規9か所の合計18施設・団体からの応募があった

(表参照)。開催教室数約全430回、参加予定生徒・児童数1,300名余

りが、今後1年間、休日・放課後に思い思いのビデオ創りを行う。

16年度からの継続

都道府県名	施設名
山形県	北村山視聴覚教育センター
千葉県	市川市映像文化センター
	長生郡市視聴覚教材センター
	君津地方視聴覚教材センター
茨城県	大子町視聴覚ライブラリー
群馬県	群馬県生涯学習センター
埼玉県	NPOさいたま映像ボランティアの会
愛知県	岡崎市視聴覚ライブラリー
大阪市	大阪市視聴覚ライブラリー

17年度新規

都道府県名	施設名
青森県	青森県総合社会教育センター
茨城県	日立市視聴覚センター
埼玉県	(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構
横浜市	「横浜トリエンナーレ」子ども放送局
滋賀県	長浜市教育委員会生涯学習課
島根県	島根大学生涯学習教育センター
佐賀県	佐賀県立宇宙科学館 事業課
沖縄県	名護総合学園北部生涯学習センター
	琉球大学生涯学習教育研究センター

しき ぼくたちわたしたちの町じまん」(鳥取県鳥取市立浜村小学校)

○中学校部門「検証!ブランド“鳴門金時”を支える大地」(徳島県北島町立北島中学校)
他、佳作数点。詳細は下記URLより。

<http://www.maxell-kids.com>

研究会情報

■「情報メディア学会第4回研究大会」開催

情報メディア学会では、「情報社会のメソドロジー」を基調テーマに、標記研究会を開催する。

〈開催日時〉

平成17年6月25日(土)

9:40~17:00

〈会場〉

大妻女子大学千代田キャンパス(東京都千代田区三番町12)

〈内容〉

○基調講演

「デモクラシーとデジタル・リテラシー」横江公美氏(Pacific 21代表、東洋大学非常勤講師)

○シンポジウム

「メディア・メソドロジーの諸相」猪狩章氏(朝日新聞社元ソウル支局長)、近藤誠一氏(外務省広報文化交流部部長)他〈問い合わせ先〉

情報メディア学会事務局

〒305-8550 つくば市春日1-2

筑波大学図書館情報学系内

TEL&FAX 029-859-1364

<http://www.soc.nii.ac.jp/jsims/>

各地の情報

■「第16回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞~全国アマチュアビデオ映像祭~」入賞作品決定

標記コンテストは、地方からの情報発信と映像による人づくり地域づくりを進めることを目的に開催されている。16回目

を数える今回も、全国から72本の作品が寄せられ、厳しい予選を通過した13本が、「決勝大会」(2月5日開催)に臨んだ。結果、ビデオ大賞を始めとする各賞が決定した。

○ビデオ大賞「世界に一つだけの米」藤原唯氏(兵庫県)

○兵庫県知事賞「10月10日じょんのび村で」金子豊一氏(神奈川県)

○篠山市長賞「心のふるさと筑波山」吉野和彦(長野県)

他に、兵庫県教育長賞、篠山市教育長賞など。入賞作品をインターネットで放映中。

<http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/video/index.html>

〈問い合わせ先〉

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会事務局 〒669-2206 兵庫県篠山市西吹88-1

TEL 079-590-1301

FAX 079-594-5450